

2006 年度

科目名 日本語学教育研究	対象学科・学年 研究科国語(前)1 回生 研究科国語(後)1 回生	担当者 樋口 裕子
授業テーマ 教育方法としてのディベートを体験し、その意義を考える。		
授業の概要と目標 目標は以下の 3 点である。 (1) ディベートを体験する。 (2) 教育方法としてのディベートの意義を考える。 (3) 日本語教育への応用を考える。		
評価方法 出席と発表により評価する。		
テキスト 特に指定しない。適宜プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 授業中に指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 授業スケジュール・内容 <前 期> 1. 前期授業の進め方について 2. ディベートについて (1) 3. ディベートについて (2) 4. ディベートについて (3) 5. ディベートについて (4) 6. ディベートについて (5) 7. ディベートの準備 (1) 8. ディベートの準備 (2) 9. ディベートの準備 (3) 10. ディベートを体験する (1) 11. ディベートを体験する (2) 12. ディベートを体験する (3) 13. ディベートを体験する (4) 14. まとめ (1) 15. まとめ (2) <後 期> 1. 後期授業の進め方について 2. 「話し合い」教育としてのディベートについて (1) 3. 「話し合い」教育としてのディベートについて (2) 4. 「話し合い」教育としてのディベートについて (3) 5. 「話し合い」教育としてのディベートについて (4) 6. 「話し合い」教育としてのディベートについて (5) 7. 日本語教育への応用について (1) 8. 日本語教育への応用について (2) 9. 日本語教育への応用について (3) 10. 日本語教育への応用について (4) 11. 日本語教育への応用について (5) 12. 発表とまとめ (1) 13. 発表とまとめ (2) 14. 発表とまとめ (3) 15. 発表とまとめ (4)		